

長畑ひろのり



News vol.156

6月定例議会における討論

・市長及び教育長の給料減額について

下記6月4日の産経新聞の通り「給料減額」の議案があり、賛成はしたものの次の討論をしました(一部省略しています)。

四條畷市の学校給食センター1元所長が学校給食会計から約330万円を横領したとして逮捕された事件を受け、東修平市長は3日、自らと植田篤司教育長の給料の月額10分の3を1カ月減額する議案を発表した。7日開会の定例市議会に提案する。「教育行政と市政への信頼を失墜させ、お詫びと責任を明らかにするため」としている。

四條畷市長と教育長減給へ 給食費横領受け

私は2015年より(給食費の)私会計を公会計へと何度も議場で発言させて頂きました。理由は色々ありますが、一つには不正の温床になりかねない、でした。

その後、2017年1月に東市長が就任されますが、2018年度の予算と決算までは前市長の采配でした。しかし、2019年度の予算からは東市長の采配となり、そして、2019年2月の定例議会において、前市長が任命した前教育長の後任として現在の教育長を任命されました。

つまり、**2019年度、全ての点において東市長体制となり動き出し、その体制の中で、私が訴えてきた給食費の私会計から公会計への移行に着手することとなります。**

市長が任命した教育長のもと公会計移行の準備に入られ、2020年4月1日付けで学校給食センター所長と所員の異動を行いました。その準備作業中に2019年度分の不正がわかり、2020年9月8日夜に教育長、9月9日午後には市長が知ることとなります。

つまり、教育長の就任した数ヶ月後に今回の事件は起きているものの、慣例通り教育長としての業務を引き継いだ中であります。しかも、就任翌年度には給食費の公会計移行の準備に入れているのは明らかであり、これ以上のスピードで改革を進めることは誰が教育長になっても出来なかったと考えます。

となりますと、今回の横領が明らかになったのは、教育長として精一杯努力した結果であったと判断できます。

市長についても、責任というより過去の市長が誰も手をつけなかった四條畷市学校給食会の改革を推し進めた結果であります。職員の任命責任を問われるかも知れませんが、現市長が就任する以前より公会計になっていれば、そもそも横領など起こるはずはなかったのです。何十年と私会計をほったらかしてきたこれまでの方が問題であったと判断するべきではないでしょうか。

既に警察の捜査が行われている現段階において、市長及び教育長の責任は、本市として当初の予定より遅れることなく公会計へ進めることであると思います。

その上で市長には本市のリーダーとして世間を騒がしたことに對し、教育長には四條畷市学校給食会の会長として、兩名には市民に対しての謝意が必要であるのは理解します。しかし、減給まで必要かと考えれば疑問です。ただこの点については特別職として自らの判断でありますので、尊重し議案に反対するものではないと考えます。

しかし、下記7月7日の産経新聞記事の通り「官製談合」でも逮捕され、横領額も約1,450万円まで増えています。市民の為に市を良くしようと日々活動している中、このようなことが起きてしまい、残念ですし悔しい思いで一杯です。

給食センター1元所長逮捕

大阪府警、加重収賄容疑で

大阪府四條畷市の学校給食運搬業務を委託する指名競争入札をめぐる、業者に秘密事項を漏らした見返りに賄賂を受け取ったとして大阪府警捜査2課は6日、加重収賄と官製談合防止法違反の疑いで、同市立学校給食センター1元所長、林雅弘(65)＝同市砂＝を逮捕した。同課は認否を明らかにしていない。逮捕容疑は、同センター所長だった平成31年3月に同市が実施した給食運搬業務を委託する公募型指名競争入札で、府内の運送会社の役員2人に設計金額に近い金額を伝えて落札させ、その見返りなどとして30年8月から令和2年3月にかけて役員から紳士靴など計5点(販売価格計約23万円)を受け取ったとしている。府警によると、給食運搬の委託業務の契約期間は5年で、前回の入札でもこの運送会社が落札していた。府警は会社の役員2人についても、贈賄容疑で捜査を進める。



毎月発行している「長畑ひろのりNews」を、約半年ごとに送っています。送付の必要な方は、送付先をFAXもしくはe-mailにてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280
e-mail sky@nagahata.jp

<http://nagahata.jp>



QRコード →



本年度、予算のついた主要望

報告が遅れましたが、私の要望が叶った内容です。

・保育士の待遇改善

私自身、保育園2園をかかえる社会福祉法人の理事を10年以上していますので、保育事業については過去において多岐にわたり質問をしてきました。特に保育士確保が厳しい状況であるのは保護者にとっても重要で、直近では昨年9月定例議会にて取り上げました(News vol.122、153 参照)。

要望内容は、保育士確保が厳しい状況の中、近隣市並みに本市の施設で働きたいと思っていただけるレベルまで待遇を改善して頂きたい、でした。以下、3月に行った私の代表質問における市長の答弁です。

奨学金返済支援補助事業については、大学生全体の奨学金の利用率及び本市の民間園の保育士等の年齢状況を踏まえ、44人を想定しており、勤務年数に関係なく対象となり、予算額**1,056万円**となります。

保育士宿舍借上げ支援事業については、これまでの利用実績等を踏まえ、17人を想定しており、現在の5年目までから10年目までに対象を拡大し、予算額**1,021万2千円**です。

産休・年休取得促進事業についてですが、まず、産休代替職員制度については、産休で職員が休業する期間に代替職員を配置する際に要する人件費分相当の補助を行い、想定している人数は6人で、一人当たり90日としています。年休取得促進制度については、年休取得が前年度より増加した日数分の補助を行い、想定している人数は200人、一人当たり3日の増加としており、両事業合わせて、予算額**786万3千円**としています。

・四條畷市PR大使

令和2年3月に行われた予算決算常任委員会にて、今までの観光大使からPR大使へと制度が新たになることがわかり、それならば是非にと、稲田さんをお願いしていた件です。

四條畷市PR大使に、本市在住の絵本作家「谷口智則さん」と、本市出身のお笑い芸人「アインシュタインの稲田さん(吉本興業)」が就任され、予算額**201万円**。

・給食費の公会計化

平成27年の9月定例議会より何度も訴えてきた件ですが、進み出しました(News vol.098、153、154、155 参照)。

給食費の公会計システム導入委託料に**4,000万円**。

くすのき広域連合議会の議長に

平成12年4月より、四條畷市は守口市と門真市の3市で“くすのき広域連合”を組織し介護保険事業を運営しています。現在の広域連合長は本市の東市長で、守口市の西端市長と門真市の宮本市長は副広域連合長となります。また、予算額は本年度で約334億円と、本市の約200億円より多い金額です。本年度における3市の負担額は右の通りです。

守口市	2,563,924,000円(約26億円)
門真市	2,074,397,000円(約20億円)
四條畷市	812,093,000円(約8億円)

この組織は議会も存在し、次の内容で組織されています。

くすのき広域連合議会議員 (くすのき広域連合HPより)

- ・選挙の方法：関係市の議会の議員のうちから、関係市の議会において選挙する
- ・定数：17人(守口市7人、門真市6人、四條畷市4人)
- ・任期：関係市の議会の議員の任期

問題も色々あります。一つは府内43市町村の中、唯一介護保険事業を広域で運営しながら、基準額が高額な点です。

下表の様に第8期(令和3~5年度)月額を高額順に並べると5位となり、私が何度も本市定例議会で指摘しているスケールメリットがいかされていません。

その“くすのき広域連合議会”臨時会が7月2日に開催され、私が2015年に続き2度目の議長と決まりました。本市の議員定数12人より多い中、3市長の元で就任したことに身の引き締まる思いです。

(単位：円)

1. 大阪市 8,094
2. 東大阪市 7,029
3. 堺市 6,790
4. 田尻町 6,750
5. くすのき(守口・門真・四條畷) 6,748
11. 大東市 6,420
13. 寝屋川市 6,390
32. 枚方市 5,902
39. 交野市 5,360

2連ポスター



② 政党の政治活動用ポスターは違反ではありません



①と②の法の網をくぐりぬげできたのが2連ポスター



2連ポスターは候補者と他人、そして政党がそれぞれ1/3の面積で作らないと違反になります

